



## 基本領域 総合診療専門研修

### 基幹

- 公立豊岡病院総合診療専門研修プログラム

### 連携

- 兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム  
(内科/総診Ⅱ 92頁、救急科 92頁)
- 兵庫医科大学総合診療専門医プログラム  
(内科/総診Ⅱ 20頁)
- ようか総合診療専門研修プログラム  
(小児科 38頁、救急科 92頁)
- 兵庫民医連総合診療専門研修プログラム神戸コース  
(内科 20頁、救急科 92頁)
- 鳥取の総合診療専門医を育てるプログラム  
(救急科 92頁)
- 南部徳洲会病院総合診療専門研修プログラム  
(救急科 92頁)
- 沖縄県立八重山病院総合診療専門研修プログラム「南ぬ島」  
(救急科 92頁)

## 1. プログラムの理念・特色

公立豊岡病院総合診療専門研修プログラムは、兵庫県の但馬地域(豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町)の全ての公立病院(豊岡病院、出石医療センター、朝来医療センター、日高クリニック、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院)と地域の中小病院・診療所(ろっぼう診療所、合橋診療所、資母診療所、高石医院)により構成されます。

プログラム病院群が所在する但馬地域は兵庫県の面積の約25%を占める一方、人口は県総人口の約4%弱の18万人弱でしかなく、高齢化率が30%を超えた典型的な過疎・高齢化地域となっており、当プログラムでは研修修了後もこの地域で健康にかかわる問題について適切な初期対応等を行う医師・総合的な診療能力を有した医師の育成を目指します。

そのため、研修ではまず、総合病院の指導医のもと一般的な疾患に対する初期医療に関する的確な対応ができる能力を備えたうえで、全研修期間を通じて(特に小規模医療機関において)様々な社会背景の患者に対し社会・心理学的アプローチを含めた全人的医療についての能力獲得を目指します。

## 2. 目標・プログラム

専攻医は、日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する総合診療専門医になることで、以下の機能を果たすことを目指します。

- ①地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス(在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む)を包括的かつ柔軟に提供
- ②総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療(高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等)と臓器別でない外来診療(救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア)を提供

## 3. 指導医・スタッフ

(豊岡病院)

院長補佐 兼部長 岸本 一郎 大学卒業年 1988年卒	部長 森 健太 大学卒業年 2005年卒	指導医 隈部 綾子 大学卒業年 2008年卒	指導医 水谷 直也 大学卒業年 2015年卒
博士(医学) 京都大学 1994年			
専門 糖尿病、内分泌、高血圧	専門 循環器一般、総合内科、動脈硬化	専門 内科一般	専門 内科一般
認定 日本糖尿病学会専門医・指導医・評議員、日本内科学会総合内科専門医・指導医・近畿支部評議員、日本高血圧学会専門医・指導医・評議員、日本内分泌学会評議員、日本肥満学会評議員、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本循環器学会専門医、日本専門医機構認定総合診療専門医、総合診療特任指導医、京都大学医学部講師(非常勤)、臨床研修指導医	認定 日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本病院総合診療医学会認定医、日本動脈硬化学会専門医・評議員、臨床研修指導医	認定 日本内科学会総合内科専門医、日本感染症学会専門医、日本化学療法学会学会抗菌化学療法認定医、ICD制度協議会認定医、総合診療特任指導医、臨床研修指導医	認定 日本内科学会総合内科専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・プライマリ・ケア認定医・認定指導医、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会終了、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会終了、臨床研修指導医

(出石医療センター)

院長 西岡 顯 大学卒業年 1980年卒
専門 内科一般
認定 日本医師会認定産業医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、総合診療特任指導医、臨床研修指導医

(朝来医療センター)

院長 木山 佳明 大学卒業年 1979年卒
専門 消化器一般、外科
認定 日本外科学会専門医、日本医師会認定産業医、マンモグラフィ読影医、総合診療特任指導医、臨床研修指導医

(日高クリニック)

院長兼健診センター長 兼人工透析センター長 小松 素明 大学卒業年 1997年卒
専門 内科一般
認定 日本内科学会総合内科専門医、総合診療特任指導医

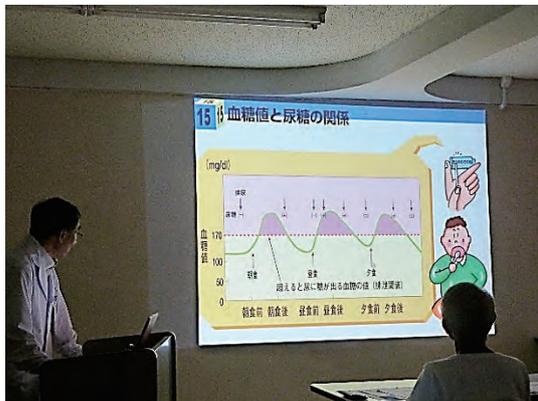
#### 4. 研修活動の場

##### ①地域での健康増進活動

場所：出石医療センター、朝来医療センター、日高クリニック、村岡病院、香住病院、浜坂病院

内容：高脂血症教室、糖尿病教室、高血圧教室、母親学級など

時期：主に総合診療専門研修Ⅰの期間



(糖尿病教室の様子)



(生活習慣病教室の様子)

##### ②教育(学生、研修医、専門職に対するもの)

専攻医は屋根瓦方式の指導体制のもと、指導者から学ぶと共に、若年の専攻医、研修医、医学生等の後進の教育指導をするという役割を担います。他者に教えることにより、自己の学びを深める機会を得ます。

場所：豊岡病院、出石医療センター、朝来医療センター、日高クリニック、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院

内容：学生(病院実習)、研修医(地域医療研修を含む)に対する指導・教育

時期：専門研修期間を通じて屋根瓦方式での教育に従事する



(地域医療研修の様子)

##### ③学習資源

(ア) 豊岡病院では、専攻医に対し、医療倫理、医療安全、感染症対策講習会の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。

(イ) 各診療科では定期的にカンファレンスを開催し、専攻医の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。

(ウ) Web会議システムを活用した地域参加型カンファレンスを定期的で開催します。

(エ) 地域参加型のカンファレンス(豊岡病院:但馬内科医会、但馬内科合同カンファレンス、但馬消化器疾患研究会)

④研究

場所：豊岡病院、出石医療センター、朝来医療センター、日高クリニック、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院、ろっぽう診療所、合橋診療所、資母診療所、高石医院

内容：日々の臨床の中から研修課題を見つけ出すというプライマリ・ケアや地域医療の意義を理解し、症例報告や臨床研究を実践  
例)日本プライマリ・ケア連合学会近畿支部ポータル発表会

時期：専門研修期間を通じて可能であるが、総合診療専門研修Ⅰの期間を推奨

⑤指導体制に関する特徴

(ア) 豊岡病院(2名)、出石医療センター(1名)、朝来医療センター(2名)、日高クリニック(1名)、八鹿病院(2名)、村岡病院(1名)、香住病院(1名)、浜坂病院(1名)の計11名(うち、プライマリ・ケア連合学会指導医3名、特任指導医8名)が配置されており、専攻医はプログラム責任者、各指導医と緊密に連絡を取り合いながら、専攻医の要望とプログラムの理念・研修目標と摺合せを行いつつ、柔軟にかつ適時に指導を行います。

(イ) 専門研修プログラム管理委員会を設置しプログラム内で研修する専攻医の研修を管理します。

⑥医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力

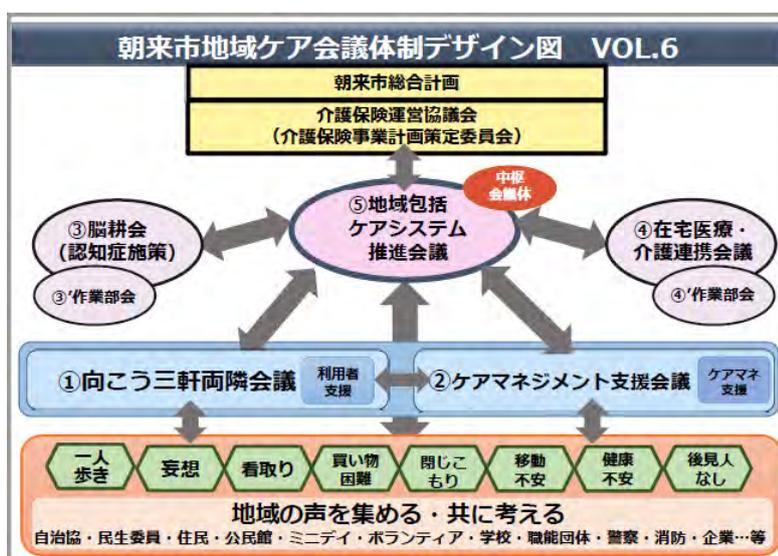
各医療センターでは、入院患者に対してチーム医療を展開しています。主治医と担当看護師・理学療法士はもとより、患者・家族に応じてはケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパー、老健などの職員地域リハビリ担当者など保健・福祉関係者を交えた退院前カンファレンスを実施しており、周辺医療機関とは互いに患者紹介も頻繁です。

また、各指導医は地域での勤務歴も長いことから、地域住民(区長、隣保長)との確固とした繋がりを有しており研修への協力も得やすい環境にあります。

(例) 地域ケア会議を通じた関係機関との連携 ～『向こう三軒両隣会議』への医師の参加～

朝来市では、地域住民と専門職が公民館等を集まり、一人ひとりの高齢者の暮らしを支えるための会議(向こう三軒両隣会議)を開催している。

この会議には朝来医療センターの医師や医療ソーシャルワーカーも参加し、本人や家族のライフスタイルも踏まえたうえで、療養上のアドバイスや地域ケアスタッフの医学的管理のポイントを助言する役割を担っている。



(朝来市高年福祉課資料より)

## 5. 専門研修施設群



## 専門研修施設群

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 豊岡病院     | 6 村岡病院   |
| 2 日高クリニック  | 7 浜坂病院   |
| 3 出石医療センター | 8 香住病院   |
| 4 朝来医療センター | 9 合橋診療所  |
| 5 八鹿病院     | 10 資母診療所 |

## 6. 基幹プログラム

### 公立豊岡病院総合診療専門研修プログラム

公立豊岡病院での研修モデル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 豊岡病院/八鹿病院/(日高:(訪問診療))											
2年目	小児科		救急科			総合診療専門研修Ⅱ 豊岡病院/八鹿病院/(日高:(訪問診療))						
3年目	精神科・産婦人科・外科・整形外科・眼科・緩和ケア・ リハビリテーション科・放射線科・内科・総合診療Ⅰ・Ⅱ・へき地医療					総合診療専門研修Ⅰ						
	※1					※2						

- ※1
- |            |              |
|------------|--------------|
| 精神科        | …豊岡病院        |
| 産婦人科       | …豊岡病院        |
| 眼科         | …豊岡病院        |
| 外科         | …朝来医療センター    |
|            | …日高クリニック     |
|            | …出石医療センター    |
|            | …朝来医療センター    |
| 総合診療Ⅰ      | …村岡病院        |
|            | …浜坂病院        |
|            | …香住病院        |
| 内科         | …豊岡病院、八鹿病院   |
| 総合診療Ⅱ      | …豊岡病院、八鹿病院   |
| 整形外科       | …豊岡病院        |
| 緩和ケア内科     | …豊岡病院        |
| リハビリテーション科 | …豊岡病院        |
| 放射線科       | …八鹿病院        |
| へき地医療      | …合橋診療所、資母診療所 |

- ※2
- |       |           |
|-------|-----------|
| 総合診療Ⅰ | …日高クリニック  |
|       | …出石医療センター |
|       | …朝来医療センター |
|       | …村岡病院     |
|       | …浜坂病院     |
|       | …香住病院     |

後期研修1年目は基幹施設である豊岡病院又は八鹿病院で内科研修を行います。

2年目は豊岡病院での総合診療専門研修Ⅱ・小児科・救急科の領域別必修研修(総合診療Ⅱについては八鹿病院での研修も可能)を行います。(内科研修・総合診療Ⅱの期間中に日高クリニックでハーフデイバック等により総合診療Ⅰ(訪問診療)を経験する)。

3年目の前半は内科・総合診療Ⅱ・精神科・整形外科・眼科・産婦人科・リハビリテーション科・緩和ケア内科(豊岡病院)、総合診療Ⅰ(日高クリニック)、総合診療Ⅰ(出石医療センター)、総合診療Ⅰ・外科(朝来医療センター)、内科・総合診療Ⅱ・放射線科(八鹿病院)、精神科(高石医院)、へき地医療(合橋診療所、資母診療所)等の選択研修を行い、連携して幅広い疾患管理能力を習得するための研修を行い、総合診療専門医に必要な知識や技能を補います。後半は地域医療を実践する日高クリニック、出石医療センター、朝来医療センター、村岡病院、香住病院、浜坂病院の何れかにおいて総合診療専門研修Ⅰを行います。3年目の研修では、専攻医の希望する病院と診療科、受け入れを行う連携施設側の態勢に応じてフレキシブルにローテーションを組み、研修を行います。なお、選択研修期間中はハーフデイ・ワンデイバックによる勤務を可能とします。

### プログラム・資料に関する問い合わせ先

**TEL** 0796-22-6111(代表)

**FAX** 0796-22-0170

**e-mail** kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp

**website** <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/>

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094 公立豊岡病院組合 人材育成・研修支援センター

### 先輩医師の声

私は総合診療プログラム専攻医として、2021年度に豊岡病院で勤務しました。

当院は但馬地方の基幹病院であり、近くにはほかの大きな病院はないため、あらゆる種類・重症度の疾患が集まります。専門科によっては常勤医がいない科・常勤医が少ない科も多く、総合診療科ではより幅広い疾患への対応が求められます。高血糖緊急症や甲状腺クリーゼ、血管炎、間質性肺炎、ネフローゼ症候群、末期腎不全の透析導入、化膿性脊椎炎など、他病院であれば他科入院となるような症例も、多くは主治医として対応します。もちろん他の診療科には相談しやすい環境が整っているため、専門医の先生方のサポートのもと、幅広い知識・診療能力が身に付きます。

また超高齢化がすすんでいる但馬地域の総合診療科として、多職種や他病院と連携しながら、退院したその後の生活や予防医療、家族志向型ケアなども意識した診療を実践できます。今後総合診療科を目指す方はもちろん、その他の診療科を目指している方でも、まずは包括的ケアを学ぶ場として、当院での研修をぜひ検討してみてください。



高田 京加 医師